

# 1、日常活動報告

## ①日常活動について

日常活動には放課後ルーム、校庭、体育館での自由遊びに加えて、スポーツ、工作を中心にバラエティに富んだ活動を行いました。晴れの日には校庭、雨の日には体育館を解放して、遊びやすい環境整備を行った。

## ②企画活動について

以下の通り企画活動を行った。主に工作や運動遊び、レクリエーションの要素を持った活動を中心に企画活動を実施した。

### 4月

実施日	活動	参加者	内容
コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			

### 5月

実施日	活動	参加者	内容
6～31日	あの先生の秘密を追え！	延べ 543名	壁に職員の自己紹介クイズを掲示し、子どもに解いてもらった。
11日	うごいて！よくみて！ ジェスチャーリレー	29名	チームに分かれてジェスチャーで伝える伝言ゲームを行った。

### 6月

実施日	活動	参加者	内容
1～30日	あるなしクイズ	延べ 198名	「ある」と「なし」の仲間の共通点をさがすクイズを行った。
8日	飛ばして遊ぼう！ ビニールロケット	51名	傘を入れるビニール袋を利用したロケットを投げて飛ばした。
20～24日	雨の日も ぶんぶんゴマがあれば	81名	室内でも遊べるようにと、ぶんぶんゴマの工作を行った。

### 7月

実施日	活動	参加者	内容
1～31日	お絵かきアート ～守りたいもの～	延べ 356名	週ごとにテーマが変わるお絵かきを行った。
19日	陣地からボールを 出さない	52名	コート上のボールを投げ合って、陣地にボールが少ないほうが勝ちというゲームを行った。

### 8月

実施日	活動	参加者	内容
1～31日	ギネス記録に挑戦	延べ 460名	週ごとに変わるお題に挑戦した。
4～5日	スライムをつくろう！	95名	通常とマシュマロの2種類のスライムを選んで作った。
10、30、31日	田端大作戦 in2022	—	中止。

## 9月

実施日	活動	参加者	内容
1～30日	わくわくクロスワードパズル	延べ 138名	クロスワードパズルを壁に掲示して、問題を解いた。
13日	チーム対抗しっぽとりゲーム	55名	チーム対抗のしっぽとりゲームを行った。
14, 21日	卓球体験会	8名	卓球クラブに向けて体験会を行った。

## 10月

実施日	活動	参加者	内容
1～31日	クイズ王	延べ 381名	毎日変わるクイズに挑戦した。
3～14日	モルックを体験してみよう!!	52名	モルックを行った。雨天のため5日間のみ実施。
21～26日	ハロウィン変身ハット工作	67名	魔女やコウモリなどに仮装できる帽子を作った。

## 11月

実施日	活動	参加者	内容
1～30日	私が住む本のタイトルは？	延べ 200名	本の登場人物を掲示し、それが出てくるタイトルを当てるクイズを行った。
28,30日	ハンターから逃げ切れ!! 逃走中第3弾	97名	ミッションをこなしながらの鬼ごっこを行った。

## 12月

実施日	活動	参加者	内容
1～28日	グッバイ☆2022 今年を振り返ろう3択クイズ!	延べ 304名	今年あったことをテーマに問題を解いた。
15～21日	自分だけのツリーを作ろう	55名	ペーパークラフトでツリーを作った。

## 1月

実施日	活動	参加者	内容
4～31日	みんなが気になる検定は？	延べ 137名	色々な検定の問題に挑戦した。

## 2月

実施日	活動	参加者	内容
1～28日	写真で一言…!	延べ 401名	写真を使って大喜利を行った。
6～8日	Xジャイロを作って遊ぼう!	62名	Xジャイロを作り、校庭で投げて遊んだ。

## 3月

実施日	活動	参加者	内容
1～31日	目指せオンリーワン!	延べ 503名	お題に対し人と被らない解答をする遊びを行った。
1日	障害物リレー	51名	校庭で障害物リレーを行った。

## 2、行事報告

事業計画に基づき定期的に行事を実施した。行事は四季の変化を感じ取り、日本の伝統や自分の住む地域に愛着を持つことを目的に企画した

実施日	活動	参加者	内容
5/10～31日	ようこそ！ わくわくひろばへ	81名	1年生向けにわくわくひろばのルールをゲーム形式で教えた。
7/1～7日	七夕飾りをつくろう	延べ 153名	短冊に願い事を書いたり、飾り工作を行った。
8/9	戦争を知る。 シアター朗読会	—	中止。
9/7	防災について 考えよう！	41名	自然災害をテーマにお話を聞いたり、防災工作を行った。
10/31	わくわくハロウィン なぞときスタンプラリー	58名	なぞを解いて、仮装した職員からスタンプをもらうイベントを行った。
11月7～12日	わくわくステンド グラス？ウィンドウ	延べ 166名	透明板に絵や模様を描き、それを集めてモチーフを作った。
12月26日	動け！頭使え！ 世界を救え！	59名	年末行事としてオセロ返しを基本としたゲームを行った。
1月10～16日	わくわく神社、はじめまし た～絵馬に願いを～	98名	絵馬に今年の抱負や願いを描いた。
2月1日	おはじきで鬼退治だ！	57名	おはじきの上に鬼人形を固定し、それをはじくおはじき遊びを行った。
3月18日	Congratulations ～羽ばたくとき～	14名	6年生優先の時間を作り、記念品を贈呈した。

## 3、特別活動報告

田端小学校の学区域内に居住する特別な専門技術を有する方を講師とする活動、保護者も一緒に楽しめる活動、学校外をステージする活動を実施しました。

実施日	活動	参加者	内容
1月28日	ナイスショット！	延べ	地域の方を講師として呼び出してスナッグゴルフを行った。保護者の参加もあった。(内保護者9名)
2月25日	スナッグゴルフ	29名	

## 4、クラブ活動報告

### 【卓球クラブ】

目的：卓球を通じて、他学年との交流を図る。卓球の技術向上や体力の向上を目指す。

登録人数：12名

活動開催回数：11回

延べ参加人数：115人

## 5、実行委員会報告

放課後子ども総合プランの事業、運営について話し合う場として定期的を開催した。内容としては活動報告、様々な課題についての協議等を行った。今年度は4月、7月、11月、2月の4回開催した。メンバーは学校関係者、地域関係者、PTA関係者、管轄児童館関係者であった。

回数	実施日	参加者	主な議題
1	4月22日(金)	30名	令和3年度年間利用状況について、令和4年度事業計画について、令和4年度登録状況について、その他
2	7月9日(金)	23名	令和4年度登録状況・利用状況について、夏休みについて、その他
3	11月19日(金)	26名	令和4年度登録状況・利用状況について、冬季運営について、運営委員会報告について、その他
4	2月10日(金)	—	書面開催。令和4年度登録状況・利用状況について、令和5年度事業計画要約について、その他

※参加者数は法人職員含む

## 6、その他の活動報告

### (1) 広報活動

#### ① わくわく田端ひろばだより

毎月発行している田端放課後子ども総合プランの情報誌でその月の企画や行事を掲載した。学校を通じて全校児童に配布した。また実行委員会の方、地域施設等、子どもわくわく課を通じてすべてのわくわく☆ひろばに配布した。

#### ② ホームページ

田端放課後子ども総合プランは独自のホームページを持っており、北区のホームページとリンクしている。ホームページには施設の概要や最新情報などを載せており、施設を利用したことのない人や遠方の人まで幅広い対象に田端放課後子ども総合プランをアピールできる場となった。また、自然災害などの有事の際の情報発信の場としても活用した。

#### ③ 元気です

社会福祉法人東京聖労院の広報誌。年3回の発行。田端放課後子ども総合プランで行われた行事の報告や地域の方々の声などを載せている。

## (2) 防災訓練

利用者の安全を守るため、防災計画をたて、訓練を行った。有事の際に混乱なく避難できるように訓練した。また、毎月実施している田端小学校の避難訓練に職員が参加した。

実施日	活動名	参加人数	内容
4月25日	避難訓練	6名 (職員)	校内の非常用設備の位置と持ち出し品の内容を把握し、非常時の動き方を確認した。
5月31日	避難訓練(地震)	69名	震度5弱の地震を想定し、1年生に対して、各部屋から校庭へ避難する訓練を行った。
6月15日	避難訓練(地震)	164名	地震が起きた時の避難について訓練を行った。
7月15日	避難訓練 (自然災害)	12名 (職員)	自然災害が起きた際の情報収集や対応について確認した。
8月19日	避難訓練(地震)	102名	震度5弱の地震を想定し、各部屋から校庭へ避難する訓練を行った。
9月7日	防災訓練	41名	2. 行事報告「防災について考えよう！」と同様。
10月20日	避難訓練(火災)	65名	校庭遊び中に火災が発生した時の避難経路を確認する。
11月15日	職員訓練	8名	滝野川消防署の方にAEDの使い方を教わった。
11月24日	職員訓練	16名	滝野川警察署の方に不審者が来た時の対応を教わった。
12月7日	不審者訓練	117名	放課後の活動中に不審者が現れた想定で訓練をした。
2月27日	職員訓練	17名	体調不良に伴う嘔吐処理の仕方を確認した。
3月15日	避難訓練(地震)	90名	担当以外職員も予定を知らない状態で地震想定避難訓練をした。

## (3) 苦情・事故対応

・5月に職員に5年男児が片付けをしないことを注意され、そのまま帰ろうとしたら、誰もいないところで職員にランドセルを引っ張られ、引きずられたと保護者から苦情があった。職員やその時間にいた子どもたちに聞き取りを行い、そういった事実がないことや誰もいない場所はないということを副校長も交えて保護者にお話をした。誤解を受けるような行動は行わないことを職員に指導した。

・5月25日帰り際に、ぼぶらクラブ第二の3年男児が2年女児と連絡帳で叩き合ってふざけていた。その際に、男児が避けようとして後ろに下がったところに避難窓の手すりの出っ張りに右後頭部をぶつけた。保護者に連絡し、迎えに来てもらう。病院には行っていない。

・6月20日、ぼぶらクラブ第三の1年女児が校庭でうんていをしていた際に、左ひじから落下して捻った。その後、腫れが見られた。保護者に連絡し、病院へ行った。捻挫の診断で、保険を利用した。

・8月16日体育館でボール遊び中に、ぼぶらクラブ第三の2年男児と3年男児がお互い前を見ずにボールに飛び込みぶつかり、右手の人差し指と相手の左肘が接触した。その後2年男児の右手人差し指に腫れが見られた。保護者に迎えに来てもらい、病院へ行った。靭帯と腱の損傷の診断。保険を利用した。

・12月16日3年～5年でサッカーを行っていた際、一般利用の5年男児に対し、しつこいディフェンスを行った場面で右足の内側辺りを蹴られた。事故直後に赤みや腫れはなくアイシングを行い様子を見た。アイシング途中から腫れが出始め、

保護者に連絡をし、迎えに来ていただいた。打撲の診断を受け通院した。保護者へは保険の案内を事故日の当日に行ったが、役所からまだ請求の案内はないと3月中旬に連絡があった。

- ・11月28日サッカーを行っていた際にぼぶらクラブ第一の1年男児左足首を捻った。職員には足を捻ったことや痛みがあることを告げず、帰宅後に保護者へ本人がお話した。かかりつけ医を受診後、整形外科へ再受診した。1月30日に剥離骨折の診断を受け、2月25日の受診で完治の診断を受けた。1カ月以上の通院のため、放課後児童健全育成事業事故報告様式での報告を区に行った。保険の案内は保護者へ行った。

- ・事件事故が起きた後には、毎日のミーティングで共有し、適切な対応や、同じ事件が起こらないようにするにはどうすべきだったか話し合った。

#### (4) その他

- ・弁当対応について  
土曜日や学校休業日は毎回弁当対応を行い、その様子や人数（内訳を含む）を記録し、北区教育委員会事務局子ども未来部子どもわくわく課に報告した。夏場は冷蔵庫や保冷バッグの利用ができないため、各家庭で保冷剤等の準備を行う事を周知している。
- ・児童の再登校について  
一度に限り児童の再登校を可能とする活動を行った。

## 1、田端ぽぷらクラブ（学童クラブ）とは

田端放課後子ども総合プランの事業の一つとして、北区から業務委託を受け、田端児童館管轄のもと学童クラブ事業（放課後児童健全育成事業）を行っている。日常生活と健全育成の場として、小学校内に専有の部屋と担当の職員を配置し、運営を行っている。

- ①利用時間）月曜日～金曜日 下校～午後 6 時  
 延長育成 午後 6 時～午後 7 時  
 学校休業期間 午前 8 時 15 分～午後 6 時  
 延長育成 午後 6 時～午後 7 時  
 土曜日 午前 8 時 15 分～午後 6 時
- ②定 員）40 名

## 2、1日の子どもの動きについて

【学校開校日】

学校終了後～	登室 学習タイム
15:20	おやつタイム おやつ終了 自由遊び
16:50	帰宅準備
17:00	帰宅開始 コース帰り
17:30	コース帰り
17:40	帰りの会
18:00	コース帰り ※以降延長育成
19:00	帰宅終了

【学校休業日】

8:15	登室
9:15	部屋遊び 学習タイム
12:00	自由遊び 昼食 片付け・休憩
13:00	自由遊び
15:00	おやつタイム おやつ終了
16:50	帰宅準備
17:00	帰宅開始 コース帰り
17:30	コース帰り
17:40	帰りの会
18:00	コース帰り ※以降延長育成
19:00	帰宅終了

## 3、学童クラブの運営について

毎日職員ミーティングの時間を設け、子どもについて・学校や地域のことについてなどの情報を全職員で共有するよう努めた。また、学童クラブ職員間のミーティングも毎日行い、子どもたちの些細な変化等についての情報を職員で共有した。

### ① 子どもとの関わりについて

活動場所には必ず職員を配置し、子どもたちが安心して生活・活動ができるよう配慮した。学習タイム（5時間授業以上は15分、午前授業日及び学校休業日は45分）では、集中して取り組めるよう、班で取り組むことを基本とした。

学習が終わった子から順次本読みをするように促した。環境を整備し、一目でどこに

何があるか子どもたち自身で把握することができるようにした。そうした事により自発的に片付けや、環境整備の声掛けも子ども同士で出来るようになっていた。そのほか、学童クラブ独自の行事などを設け、子どもたちがクラブに対して帰属意識を持てるようにした。

#### ② おやつ提供について

保護者から毎月徴収しているおやつ代を使用し、おやつの購入提供を行った。毎日午後3時20分頃（各学年の下校時間によって異なる）からおやつの時間とした。栄養面に配慮し、子どもたちが十分なエネルギー補給をできるように工夫した。

月1回の誕生会の日には、誕生児童のリクエストおやつを購入し、その月の誕生児童をお祝いした。

#### ③ 保護者との関わりについて

毎日の連絡帳や、個人面談を通して日々の子どもの様子を伝え、よりよい運営を行うために情報を共有した。

#### ③ 安全の確保について

保護者と協力して、出欠の把握を徹底するとともに、子どもたちに対しても、安全確保の意識が高まるように日常的に指導した。また、田端ぼくらクラブに在籍する児童の居住地域が七方向に分かれていた為、児童の帰宅時の安全を図れるようにコースも7つに分けた。

4月、10月～2月はシルバー人材センターのパトロールがポイントまでの見守りを行なった。

時間は①16:30 ②17:00 ③17:30 ④18:00の計4回。

## 4、子どもの様子について

登室の際は、手洗い・うがい、手指消毒をし、身支度を整え、児童全員の出席が確認できた後に学習タイムを実施した。学習タイム終了後は、おやつタイムとして各班ごとにおやつを食べた。おやつタイム終了後は自由遊びを行なった。自由遊びでは各学童クラブやわくわく田端ひろばの学童ルーム、校庭や体育館などで過ごした。学童クラブではごっこ遊びをしたり工作活動をしたりと多くの遊びが展開された。また、わくわく田端ひろばの放課後ルームには、学童クラブ室には無い本や工作キットがある為、放課後ルームで過ごすことで子ども達の遊びの幅を広げられた。また交友関係も広がりより充実した遊びが展開されるようになった。また、学校の校庭や体育館では運動遊びを自由に行なった。

学童クラブの行事に加えて、わくわく田端ひろばの行事にも参加することで、普段の生活の中ではできない工作や運動遊びができ、児童の活動の幅を広げることができた。